

予算	款	項	目	決算書	
	2	1	2	108	頁
目名					事業名称
財政管理費					財政管理事業

1. 概要

目的	計画的で健全な財政運営及び財政調整基金等の適切な管理運用	対象	全庁
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○基金運営管理事業 <ul style="list-style-type: none"> ・財政調整基金積立金 ・減債基金積立金 ・公共施設整備基金積立金 ・地域振興基金積立金 ・ふるさと応援基金積立金 ・住民生活に光をそそぐ基金積立金 ○連結財務諸表作成事業 <ul style="list-style-type: none"> ・連結財務諸表の作成に要する経費 ○財政管理事務費 <ul style="list-style-type: none"> ・入札及び財政運営に係る一般事務経費 		

2. 指標設定

成果指標	指標名	適正な予算編成の実施		目標年度	H26	指標の設定理由			
		数値				計画的で健全な財政運営を図る上での根幹であるため			
活動指標	指標	a	経常収支比率	b	市債現在高	c	計画的な基金積立(利子分除く、財政調整基金及び減債基金)	d	
	数値	目標	前年度以下	目標	前年度以下	目標	毎年5億円以上	目標	

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H22	H23	H24
適正な予算編成の実施		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H22	H23	H24
a 経常収支比率	%	88.8 %	87.2 %	87.0 %
		102.8 %	101.8 %	100.2 %
b 市債現在高	億円	300.4 億円	296.9 億円	303.5 億円
		105.5 %	101.2 %	97.8 %
c 計画的な基金積立(利子分除く、財政調整基金及び減債基金)	億円	11.4 億円	9.1 億円	8.4 億円
		228.0 %	182.0 %	168.0 %
d		—	—	—
		—	—	—

4. 課題と対応

課題
主要な歳入である普通交付税の段階落ちが目前に迫るなか、経済状況の悪化や少子高齢化に伴う扶助費等の増加も予想され、より一層の計画的な財政運営が求められている。
対応（改善点等）
効率的・効果的な予算を組み立てるとともに、経常一般財源の削減及び行政経費の抑制を図る

5. 事業費・・・H22～H24（決算額）、H25（予算現額）

決算額（千円）	H22	H23	H24	H25
	559,847	681,211	542,497	26,693
うち経常経費	1,532	1,607	2,879	6,435
財源内訳	国費	8,000	396	
	県費			
	市債			
	その他	35,315	57,087	14,453
	一般財源	516,532	624,124	527,648
	うち経常	1,532	1,607	2,879
事業費に係る人件費	35,038	43,000	42,938	43,588
事業費に係る人役	8.00	10.00	10.00	10.00

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 住民福祉の向上を図るためにには、将来にわたって健全な財政運営を行っていく必要があるため
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 市の職員が行革のリーダーとしての自覚を持ち、現状と課題の共通認識を持った上で予算編成に取り組む必要がある
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 市全体に関わることであるため
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 適切な財政分析を行い、徹底した経常経費の削減と、将来に向け計画的・安定的な財政運営を行っていく必要がある
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 一定の成果は上がっているが、新たな財政需要の増加もあり、よりスピード感を持った対応が求められている

8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	行革集中改革プランに則り、将来に亘り、持続可能で健全な財政運営に取組むこと。

6. H26年度予算の方向性

方向性
減額
理由
第2期集中改革プランに掲げる5年間25億円の積立金の確保及び削減計画に向けた適正な予算編成を行うため

